

平成25年度 阿賀野市算数部 活動報告

部長 五十嵐 潤

1 研究主題 思考力・判断力・表現力を育てる算数の授業

阿賀野市の子どもたちは、算数科の学力に二極化が見られる。算数科に苦手意識があり主体的に取り組めなかったり、自分の考えを分かりやすく表現できなかったりする子どもも少なくない。しかし、既習事項を活かしながら問題を解いたり自分の考えを分かりやすく表現したり、学んだことを活用したりしていくことは、算数の楽しさを感じ「生きる力」を身に付けることにつながると考える。そこで、算数部では昨年度に引き続き「思考力・判断力・表現力を育てる算数の授業」をテーマとした。

2 研究の概要

4月23日(火)… 組織の構成 研究主題・事業計画の作成

6月11日(火)… 模擬授業① 協議会

11月26日(火)… 講師都合により延期

1月27日(月)… 模擬授業② 講義

講師 村上市立村上小学校教諭 川村 尚史 様

3 研究の実際

(1) 第1回模擬授業

6年生「比とその利用」の模擬授業を行った。

＜協議で話題になったこと＞

- ・導入と課題を一致させることが大事である。
- ・数だけに着目させるのではなく、実生活につなげて考えさせるべきである。
- ・ねらいと学習の中心がずれていたため、活動がぼやけてしまった。

＜ご指導＞

- ・他児童の考えを自分の言葉で説明させたところはよかった。ただ、そのときに、共通のよりどころとなる媒介(図、もの)が必要である。それが自力解決に困っている子どもの支援や説明の手立てにもなる。
- ・個々で問題把握が困難な場合、ペアやグループで見通しを確認し合うことも必要である。ワークシートを活用しての交流をさせながら教師は子どもを見取る。
- ・ワークシートに思考の跡を残させるようにさせることも大切である。学習のまとめをかくスペースも設けることが必要である。

(2) 第2回模擬授業と講義(予定)

＜模擬授業＞4年「資料の整理」

＜講義＞「思考力・表現力を育てる算数授業の在り方」

考え方を身に付けさせるために…①よさにふれる
②掲示物を利用し意識させる
③理由や根拠を大切に

表現の仕方を身に付けさせるために…①言葉の指導
②図の段階的な指導
③表現する場の保障
④説明用プリントの活用

課題や授業の展開…①数値の設定、きまりがかくれているような課題
②規則への着目
③条件を考えさせたり、条件を不足させたりする

4 おわりに

模擬授業を通して、主に思考力や表現力の高め方を全員で考えることができた。また共通の授業を通していろいろな視点から話し合うことができたので、よりよい手立てや課題の在り方を学ぶことができた。今後も思考力・判断力・表現力を育てる算数の授業を工夫し、子どもたちに算数の楽しさを体感させていきたい。